

# 今私たちが後世に伝えたいこと

## 北九州と長崎のつながり



みなさん、今から約75年以上前、  
日本で戦争があったことを知っていますか？  
1945年 8月6日 午前8時15分 広島県  
1945年 8月9日 午前11時2分 長崎県  
に原子爆弾が投下されました。

しかし

長崎に投下された原子爆弾は、  
**小倉**に落とされる計画だったのです。

### 小倉が投下の第一目標だった理由

- 兵器を作るための兵器工場などがあり、重要な都市だったため。
- 空襲の被害を受けていないところへ投下し、原子爆弾が与える影響をみるため。

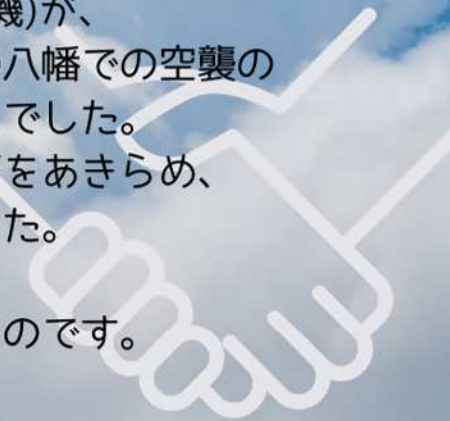
### 【クイズ】

8月9日、投下の第一目標であった小倉ではなく長崎に原爆が投下されたのはなぜ？

- ①小倉に雨が降っていたから。
- ②小倉の町が煙に覆われていたから。
- ③B29(航空機)の燃料が足りなかったから。
- ④小倉の町が雲に覆われていたから。

答え ②

8月9日、原子爆弾をのせたB29(航空機)が、小倉上空に達した時、その空は前日の八幡での空襲の煙の影響により視界がよくありませんでした。そのため、アメリカ軍は小倉への投下をあきらめ、第二の目標であった長崎に向かいました。このことから、  
**北九州**と**長崎**には強いつながりがあるのです。



## 活動報告

2023.10.27~28



爆心地から西方500mの場所に位置する城山小学校・嘉代子桜を見学。鉄筋コンクリートに埋め込まれた木材までもが炭化している様子から原爆の悲惨さが伺えます。



長崎原爆資料館を見学。悲惨な形に変化したものや、当時の様子が窺えるような写真が数多く展示されています。それらを目にするだけでも当時の辛さが伝わってきました。見学後は被爆者の方のお話を聞きました。(次ページ参照)

平和公園から爆心地公園まで、戦争の悲惨さを忘れず、平和な未来を築くために行われる市民大行進。青少年ピースボランティアの方と一緒にバルーン配布、片付け等のボランティアを行いました。一斉にバルーンが飛んでいく姿は圧巻です。



青少年ピースボランティアの方々と一緒に「平和が続くために何をすべきか」について話し合いました。それぞれが平和に関して様々な思いを持っており、積極的に話し合うことができました。



# 被爆者の方のお話と私たちの思い

## プロフィール

三瀬誠一郎（みせ せいichろう）さん

現在88歳。

小学校5年生（10歳）の時に爆心地から3.6Kmの屋内で家族8名被爆しましたが、全員無事でした。

## 被爆当時の気持ち

小学生にして、明日がくるか、いつまで戦争がつづくのかなどを考えていました。三瀬さんは日本が負けてうれしかったと言っていました。戦争や空襲の恐怖に怯えずに、勉強したり遊んだりすることができるようになったからです。

## 三瀬さんの願い

現在、SNSでのやり取りが多くなっていますが、面と向かって直接コミュニケーションを取ることで、いつか交わって円満になっていくと思います。過去の出来事を思い出しながら、未来をみつめ、自分にできることを考えて行動することが平和への第一歩です。



## 私たちの思い

今、私たちが過ごしている日常は、当たり前のものでなく、その過去には想像もできないほど悲惨な出来事がありました。しかし、その過去を実際に経験した人はどんどん少なくなっており、私たちが生の声を聞くことができる最後の世代と言われていきます。"平和な世界"は一人で作ることはできません。だからこそ、世界中の人々が手を取り合って、平和な未来を『みんな』で作りあげていきましょう！

A班：出口菜名子 原田歩美 宮田らな 寺崎百音 高瀬颯太郎